

作成日 2014年02月25日
改訂日 2023年03月29日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

| | |
|----------|---------------------------------|
| 化学品の名称 | セレクト乳剤 |
| 整理番号 | 3023-10 |
| 供給者の会社名称 | 北興化学工業株式会社 |
| 住所 | 〒103-8341 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号 |
| 担当部門 | 企画部 環境安全チーム |
| 電話番号 | 03-3279-5151 |
| FAX番号 | 03-3279-5195 |
| 緊急連絡電話番号 | 03-3279-5151 |
| 推奨用途 | 農業(除草剤) |
| 使用上の制限 | 推奨用途以外の使用はしないこと |

2. 危険有害性の要約 ~ 16. その他の情報

別添「アスタライフサイエンス株式会社 セレクト乳剤 安全データシート(改訂日: 2023年3月27日(第6版))」を参照のこと。

安全データシート

作成日 2010年3月11日(初版)

改訂日 2023年3月27日(第6版)

1. 化学品及び会社情報

製品名 : セレクト乳剤
 会社名 : アリスタ ライフサイエンス株式会社
 住所 : 東京都中央区日本橋一丁目4番1号
 担当部門 : 日本事業部 SDS 担当
 電話番号 : 03-5203-9387 (事故等による急性中毒は下記の公益財団法人
 日本中毒情報センターに連絡すること。)
 (製品の使用方法は、03-5203-9350 に連絡すること。)
 緊急連絡電話番号 : 公益財団法人 日本中毒情報センター
 事故に伴い急性中毒のおそれがある場合に限る。

| 中毒 110 番 | 一般市民専用電話 (情報提供料：無料) | 医療機関専用有料電話 (情報提供料：1件 2,000 円) |
|--|------------------------|----------------------------------|
| 大阪 (365 日、24 時間対応) | 072-727-2499 | 072-726-9923 |
| つくば (365 日、9~21 時対応) | 029-852-9999 | 029-851-9999 |
| なお、弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の 情報提供料 (1 件 2,000 円) は弊社が負担致します。 | | |

整理番号 : ALH02-22577-5

推奨用途及び使用上の制限 : 農業用除草剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 : 引火性液体 区分 3
 健康有害性 : 皮膚腐食性/刺激性 区分 3
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分 2A
 発がん性 区分 2
 特定標的臓器毒性 (単回暴露) 区分 2 (血液、眼、気道)
 特定標的臓器毒性 (反復暴露) 区分 2 (血液、眼、呼吸器)
 環境有害性 : 水生環境有害性 短期 (急性) 区分 3

上記に記載されていない GHS 分類区分は、「区分に該当しない」あるいは「分類できない」
 である。

GHS ラベル要素

絵表示 :



注意喚起 : 警告

セレクト乳剤
アリスタ ライフサイエンス株式会社

- 危険有害性情報 : H226 引火性液体及び蒸気
 H316 軽度の皮膚刺激
 H319 強い眼刺激
 H351 発がん性のおそれの疑い
 H371 血液、眼、気道の障害のおそれ
 H373 長期にわたる、又は反復暴露により血液、眼、呼吸器の障害のおそれ
 H402 水生生物に有害
- 注意書き : **【安全対策】**
 P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
 P202 全ての安全注意を読み、理解するまで取扱わないこと。
 P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用する。
 P260 ミスト及びスプレーを吸入しないこと。
 P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 P273 必要なとき以外は、環境への放出を避けること。
 P264 取扱い後は、よく手を洗うこと。
【応急処置】
 P303+P361+P353 皮膚又は髪に付着した場合：直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
 P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察を受けること。
 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P337+P313 眼の刺激が続く場合は、医師の診察を受けること。
 P308+P313 暴露又は暴露の懸念がある場合：医師の診察を受けること。
 P314 気分が悪いときは、医師の診察を受けること。
【保管】
 P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 P405 施錠して保管すること。
【廃棄】
 P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：クレトジム乳剤

成分及び含有量

| 成分 | 含有量 | 化学特性 (化学式) | 官報告示 整理番号 | CAS 番号 |
|--|-------|---|--------------|------------|
| (±)-(2E)-[1-(3-クロロアリロキシイミノ)プロピル]-5-(2-エチルチオプロピル)-3-ヒドロキシシクロヘキサ-2-エノン (別名 クレトジム) | 24.0% | C ₁₇ H ₂₆ ClNO ₃ S | — | 99129-21-2 |
| 有機溶剤・界面活性剤等 | 76.0% | 非公開 | 非公開 | 非公開 |

危険有害成分 :

| 成分 | 含有量 | 化学特性 (化学式) | 官報告示 整理番号 | CAS 番号 |
|-----------------|------|--------------------------------|---------------|---------|
| ナフタレン | 6.8% | C ₁₀ H ₈ | (4)-311 (化審法) | 91-20-3 |
| 1,2,4-トリメチルベンゼン | 1.2% | C ₉ H ₁₂ | (3)-7 (化審法) | 95-63-6 |

4. 応急措置

吸入した場合 : 被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは、医師に連絡すること。

皮膚又は髪に付着した場合 : 直ちに、汚染された衣類を全て脱いで、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは、医師に連絡すること。

暴露又は暴露の懸念がある場合 : 医師の診察を受けること。

急性症状及び遅発性症状の

最も重要な徴候症状 : 吸入 ; 頭痛、めまい、吐き気、嘔吐

皮膚 ; 刺激

眼 ; 刺激、角膜の混濁

経口 ; 吐き気、嘔吐

応急処置をする者の保護 : 暴露による二次災害の防止のため、『8. 暴露防止及び保護措置』の保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項 : 情報なし

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、乾燥砂類など

使ってはならない消火剤 : 直接の棒状注水 (飛散及び火災の延焼を避けるため)

特有の危険有害性 : 火災時には、刺激性あるいは有害なガスを放出する可能性があるため、消火作業時には煙を吸入しないように注意する。

セレクト乳剤
アリスタ ライフサイエンス株式会社

- 特有の消火方法 : 火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
消火作業は、風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動させる。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際には、呼吸器用保護具、保護帽、保護メガネ、保護手袋、耐火性防護服を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 : 全ての着火源（熱、火花、裸火、高温、静電気放電等）を取り除く。
適切な消火剤（『5. 火災時の措置』を参照）を準備する。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。
密閉された場所に立ち入る前に換気する。
漏出物の処理を行う際には、適切な保護具（『8. 暴露防止及び保護措置』の項を参照）を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物や汚染洗浄水が河川等に流入しないように堰き止め、環境中に放出させない。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 危険でなければ、漏れを止める。
少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
大量の場合は、周辺を土砂で覆って流出を防止し、安全な場所に導いてから回収する。
- 二次災害の防止策 : 排水溝、下水溝、地下室及び閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 局所排気、全体換気を行う。（『8. 暴露防止及び保護措置』を参照）
- 安全取扱注意事項 : ラベルをよく読み、記載内容以外には使用しないこと。
全ての安全注意を読み、理解するまで取扱わないこと。
指定された個人用保護具（ゴーグル型保護メガネ又は側板付メガネ、不浸透性手袋、農薬用マスク、保護衣など）を着用すること。
容器を密閉しておくこと。
ミスト及びスプレーを吸入しないこと。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。
必要なとき以外は、環境への放出を避けること。
- 接触回避 : 情報なし
- 衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後は、よく手を洗うこと。
- 保管
- 保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

混触危険物質 : 情報なし
 容器包装材料 : 消防法の規定に従った容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 局所排気装置の設置、設備の密閉化、又は全体換気を適正に行う。
 取扱い作業場の近くに手洗い・洗眼設備、安全シャワー等を設置すること。

管理濃度

ナフタレン : 10ppm

許容濃度

日本産業衛生学会

トリメチルベンゼン : 25ppm 120mg/m³

ACGIH

ナフタレン : TWA 10ppm

トリメチルベンゼン : TWA 25ppm (トリメチルベンゼン異性体混合物として)

保護具

呼吸器用の保護具 : 農薬用マスク
 手の保護具 : 不浸透性手袋
 眼の保護具 : ゴーグル型メガネ又は側板付メガネ
 皮膚及び身体の保護具 : 長ズボン、長袖保護衣、長靴、ゴム製前掛け

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 澄明可乳化油状液体
 色 : 黄赤色
 臭い : データなし
 融点/凝固点 : データなし
 沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
 可燃性 : データなし
 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
 引火点 : 58.6°C (タグ密閉式)
 自然発火点 : データなし
 分解温度 : データなし
 pH : 4.8 (5倍希釈液)
 動粘性率 : データなし
 溶解度 : 水に乳化する
 n-オクタノール/水分配係数 : 該当しない
 蒸気圧 : データなし
 密度及び/又は相対密度 : 0.96 (20°C)
 相対ガス密度 : データなし
 粒子特性 : 該当しない

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
 化学安定性 : 法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
 危険有害反応可能性 : 通常な取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
 避けるべき条件 : 高温、静電気、火気などの着火源
 混触危険物質 : 情報なし
 危険有害な分解生成物 : 通常の保管・取扱い条件下では危険有害な分解生成物はない。
 なお、燃焼すると刺激性で有毒なガスを生成する可能性がある。

11. 有害性情報

- 急性毒性 経口 : (1) により、区分に該当しない。
 根拠データ
 (1) ラット LD₅₀ 値 ♂ 3,610mg/kg、♀ 2,920mg/kg
 経皮 : (1) により、区分に該当しない。
 根拠データ
 (1) ウサギ LD₅₀ 値 ♂♀ >5,000 mg/kg
 吸入 (ミスト) : (1) により、区分に該当しない。
 根拠データ
 (1) ラット LC₅₀ 値 ♂♀ >5.4mg/L
 皮膚腐食性／刺激性 : (1) により、区分3とした。
 根拠データ
 (1) ウサギを用いた皮膚刺激性試験において、中等度の刺激性あり。
 眼に対する重篤な損傷／刺激性 : (1) により、区分2Aとした。
 根拠データ
 (1) ウサギを用いた眼刺激性試験において、中等度の刺激性あり。
 呼吸器感作性又は皮膚感作性
 呼吸器感作性 : データがないため、分類できない。
 皮膚感作性 : (1) により、区分3とした。
 根拠データ
 (1) モルモットを用いた Buehler 変法において、陰性。
 生殖細胞変異原性
 製剤 : データ不足のため、分類できない。
 クレトジム : 区分に該当しない。
 発がん性
 製剤 : ナフタレンが区分2相当なので、区分2とした。
 クレトジム : 区分に該当しない。
 ナフタレン : 発がん性のおそれ (IARC でグループ 2B)
 生殖毒性
 製剤 : データ不足のため、分類できない。
 クレトジム : 区分に該当しない。

特定標的臓器毒性（単回暴露）

| | |
|-------|---|
| 製剤 | : ナフタレンが区分2相当なので、区分2とした。 |
| クレトジム | : 区分に該当しない。 |
| ナフタレン | : ヒトで溶血性貧血が認められた。 ウサギを用いた単回経口投与試験において、白内障発現が認められた。 マウスに対する吸入暴露により気道に病変が認められた。 |

特定標的臓器毒性（反復暴露）

| | |
|-----------|------------------------------|
| 製剤 | : ナフタレンが区分2相当なので、区分2とした。 |
| クレトジム | : 区分に該当しない。 |
| ナフタレン | : 長期又は反復暴露により血液、眼、鼻の障害。 |
| トリメチルベンゼン | : 長期又は反復暴露により中枢神経系、肺の障害のおそれ。 |

吸引性呼吸器有害性

| | |
|-------|--------------------|
| 製剤 | : データがないため、分類できない。 |
| クレトジム | : 分類できない。 |

1 2. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

短期（急性）: (1) ~ (3) により、区分3とした。

根拠データ

| | |
|-------------------|---|
| (1) コイ（96 時間） | LC ₅₀ 14 mg/L |
| (2) オオミジンコ（48 時間） | EC ₅₀ 23.9 mg/L |
| (3) 藻類（72 時間） | E _r C ₅₀ 107 mg/L |

長期（慢性）: クレトジムの logPow が 4 を超えているため、区分に該当しない。

残留性／分解性: 情報なし

蓄積性: 情報なし

土壌の移動性: 情報なし

オゾン層有害性: オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書の附属書に列記された規制物質を含まない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託するなど適切に廃棄する。

汚染容器及び包装: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。
関連法規及び地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

| | |
|-----------|---|
| IMDG Code | : ハザードクラス 3 (FLAMMABLE LIQUIDS) Packing Group III |
| ICAO/IATA | : Same as above |

| | |
|-------------|---|
| 国連分類 | : 3 (Flammable Liquids) |
| 国連番号 | : 1993 (Flammable Liquid, N.O.S.) |
| 国内規制 | : 『1 5. 適用法令』の項を参照の上、規定の積載方法、容器等によって輸送する。 |
| 特別安全対策 | : 輸送に際しては、包装あるいは容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。火気厳禁。 |
| 緊急時応急措置指針番号 | : 128 |

1 5. 適用法令

| | |
|---|---|
| 農薬取締法 | : 登録番号 第 22577 号 |
| 消防法 | : 危険物第 4 類第 2 石油類 非水溶性液体 危険等級III |
| 労働安全衛生法 | |
| 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第 57 条、施行令第 18 条別表第 9) | : ナフタレン、トリメチルベンゼン |
| 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9) | : ナフタレン、トリメチルベンゼン |
| リスクアセスメントを実施すべき危険有害物 (法第 57 条の 3) | : ナフタレン、トリメチルベンゼン |
| 化学物質排出把握管理促進法 (化管法) | |
| 第 1 種指定化学物質 | : ナフタレン (6.8%) (管理番号 : 302) 1,2,4-トリメチルベンゼン (1.2%) (2023 年 3 月 31 日まで) トリメチルベンゼン (1.2%) (管理番号 : 691) (2023 年 4 月 1 日以降) |

1 6. その他の情報

引用文献 : 農薬抄録 (クレトジム) アリスタライフサイエンス株式会社

安全データシートは、化学品を安全に取り扱うための参考資料として、当該製品を取扱う事業者
に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値
は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、
本品 (当該製品) に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は
当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。したがって、当該製品を取扱う事業者は、
個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この
安全データシートを活用されるようお願いいたします。